

327

新人理学療法士を対象にした大学院に対する意識調査

大西秀明・相馬俊雄・黒川幸雄・押木利英子
高木昭輝・牧田光代

新潟医療福祉大学

key words

大学院・新人理学療法士・アンケート

【はじめに】

近年、理学療法に関連する大学・大学院が徐々に増加し、大学院に在籍している理学療法士の数が増えている。今後、さらに大学院の数が増加し、大学院進学を希望する理学療法士が増えることが予想されるが、新人理学療法士が大学院に対してどのような意識をもっているのか明らかでない。そこで、我々は理学療法士の免許取得後3年以内の新人理学療法士を対象にして、大学院に対する意識調査を行ったので報告する。

【対象および方法】

対象は、新潟県理学療法士会に所属し、理学療法士免許取得後3年以内の理学療法士98名であった。調査方法は新人研修会開催時にアンケートを配布し、収集することにより実施した。アンケートの主な内容は、(1) 将来、大学院に進学したいと思いますか。(2) 大学院に進学を希望する場合の理由は何ですか。(3) どのような研究・勉強ができる大学院を希望しますか。(4) 大学院に進学する場合、仕事を続けますか。の4項目であった。

【結果および考察】

将来大学院に進学を希望するかどうかの質問に対して、「進学したい」と答えた者が全体の6.1%、「進学を考えることもある」と答えた者が25.5%であり、全体の30%以上(31名)の者が大学院に関心を持っていることが示された。また、「進学するつもりはない」と答えた者は29.6%(29名)であり、大学院に関心を示した者とほぼ同数であった。「今まで大学院のことなど考えたことがない」を選択したものは36.7%であり、アンケートを実施したことが、大学院というものに注意を向ける機会になったのではないかと考えられる。

大学院に進学を希望する理由として、「じっくり勉強する時間がほしい」が51.6%(大学院進学に関心を示していた31名中16名)と最も多く、次いで「修士号・博士号が欲しい」が25.8%(8名)であった。

どのような研究・勉強ができる大学院を希望するかどうかの質問に対しては、「臨床研究」と答えた者が45.2%、「運動学的な研究」が35.5%、「基礎医学」が19.4%、「地域リハ」が9.7%、「医療管理・経営」が3.2%であり、その他、法律が1名であった。

大学院に進学する場合、仕事を続けるかどうかの質問に対しては、「現在の仕事を続けながら大学院進学を希望する」が58.1%と最も多く、「週に1から2日理学療法士としてアルバイトをしながら大学院に通う」が41.9%であり、「全く仕事をせずに、研究・勉強に専念したい」と答えた者は0%であった。

以上の結果をふまえて、今後の大学院設置構想のあり方について検討を加えたい。